

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表:令和5年3月20日

事業所名 One step smile 大和教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			活動するのに、十分な広さを設けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			職員人数はその日のお子様の人数と支援の状況を考え、配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	指導訓練室はフラットで広さがありますが、トイレには段差があります。
	4	事業所は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	3	1		毎日、清掃と消毒作業を実施しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		職員研修を開催し、多くの職員が参加している。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			アンケート結果を基に、良い支援が行えるように努めています。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		毎回ホームページにて公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	第三者委員会等は設置していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		定期的に研修を行い質の向上に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	1		職員間での情報共有を行い、計画書を作成しています。常によりよい計画が立てられるように努めています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	アセスメントは行っていますが、ツールは使用していません。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	2		計画に沿った支援が行えるように心がけています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		職員全員での立案は難しいですが、出勤職員での話し合いを行い、立案しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		定期的に職員間話し合いを実施して新しいプログラムの内容を実践しています。従来のプログラムもローテーションで重ならないように調整しています。
	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		平日や休日の時間配分を加味し、課題に取り組んでいます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			個別活動、集団活動の両方の内容を話し合いし、計画を作成するように心がけています。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	1	朝ミーティングを実施し、前日の確認や当日の支援内容などを共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	2	支援終了後は行っていませんが、毎朝ミーティングを行い、申し送りをおこなっています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		記録は必ず行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			モニタリング会議への全員参加は難しいが、意見や情報は参加できない職員からも聞き出し、判断材料にしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	3		現場の状況により参加できないこともありますが、できる限り参加するように努めています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1		関係機関と情報共有しています。
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、地域の保険、医療、保育、教育等の関係機関と連携をとっているか		1	3	現在、医療的ケア時の受け入れをしていません。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	3	現在、医療的ケア時の受け入れをしていません。
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		1	必要に応じて、情報共有等を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互の理解に努めているか	2		2	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			参加できるように努めています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	コロナ禍で難しいが、できるよう調整していきます。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			参加できるように努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			各ご家庭と共通認識を持つために、情報は共有するよう心がけています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2		時間調整が難しい為、実施できていないことが多いですが、必要に応じて行うように努めています。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に説明させていただいています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		保護者からの相談に関しては、職員で話し合い助言を行っています。

保護者への説明責任等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	現在、新型コロナウイルス感染症に伴い、行っておりません。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		職員間で話し合いをし、再発防止に努めています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		おたよりやInstagram等で発信しています。
	37	個人情報に十分注意しているか	4			外部に出ないように事務所にて厳重に保管しています。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			障がいの特性等については個々のケースで研修を実施し、連絡帳を使って保護者とも情報伝達を行っています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	現在、新型コロナウイルス感染症に伴い、行っておりません。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		職員間では情報共有できているが、全ての保護者様にはまだ十分ではないので、おたより等でお伝えしていきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年1回、避難訓練週間を設け、実施しています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん等発作等のこどもの状況を確認しているか	4			契約時に保護者様に確認し、職員周知を行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			契約時に保護者様に確認し、職員周知を行っています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			危険事案が発生した時はヒヤリハット報告書を記入し、全職員に共有しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			研修は毎年必ず実施しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	2	1	現在は対象のお子様はおりません。